



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 ソレキア株式会社

上場取引所 東

コード番号 9867 URL <https://www.solekia.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼経理財務部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1132

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	9,546	3.3	159	168.0	175	165.7	99	41.4
2018年3月期第2四半期	9,241	1.0	59		66		169	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 65百万円 (64.2%) 2018年3月期第2四半期 182百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	114.71	
2018年3月期第2四半期	195.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	12,768	6,150	48.2
2018年3月期	13,052	6,146	47.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 6,150百万円 2018年3月期 6,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期				70.00	70.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	0.5	320	28.2	320	29.3	180	55.8	208.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	865,301 株	2018年3月期	1,016,961 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	690 株	2018年3月期	152,139 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	864,753 株	2018年3月期2Q	865,412 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(追加情報)	9
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
	(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、景気動向は緩やかな回復基調が続きました。海外経済においては、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦の影響や欧州での不安定な政治動向、東アジアにおける地政学的なリスク、金融資本市場の変動リスク等、世界経済全体が不安定化しつつあり、先行き不透明な状況となっております。

ICT業界におきましては、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）などの技術進化とともに、働き方改革への取り組みなどを背景とした企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新需要は引き続き拡大傾向にあります。

このような経営環境のもと、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は、一部大口ユーザーの需要が減少したものの、公共、文教向け情報通信機器のほか一般事業会社のシステム更新も堅調に推移し、システムエンジニアリングサービスやフィールドサービスも増収となり、95億46百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加とシステムエンジニアリングサービスの採算が向上したことにより、営業利益1億59百万円（前年同期比168.0%増）、経常利益1億75百万円（前年同期比165.7%増）となりました。前年同期には投資有価証券売却益（特別利益）の計上がありましたが、当第2四半期連結累計期間では特別利益の計上がなかったことから親会社株主に帰属する四半期純利益は99百万円（前年同期比41.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、前年同期に大型商談によって増加した情報通信機器、システムソリューションの売上が減少し、電子デバイスも減少したことから、売上高は50億59百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

損益面につきましては、売上高は減少したものの販売手数料の増加と販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は31百万円（前年同期は5百万円の営業損失）となりました。

「東日本」は、自治体向けやフィールドサービスの売上は減少したものの民間のICT投資が堅調に推移し、情報機器、ソフトウェアが増加したことから、売上高は22億47百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加と情報機器商談の原価率の改善により、営業利益は1億44百万円（前年同期比35.0%増）となりました。

「西日本」は、公共、製造業向けのシステム開発および自治体向けパソコン更新商談によりシステムエンジニアリングサービス、情報通信機器の売上が増加したことから、売上高は21億75百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加とシステムエンジニアリングサービスの採算の改善により、営業利益は1億2百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億83百万円減少し、127億68百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1億98百万円、商品が3億83百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が7億96百万円減少するなど、流動資産が2億20百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億87百万円減少し、66億17百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が84百万円、未払法人税等が53百万円減少するなど、流動負債が2億44百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、4百万円増加し、61億50百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当及び自己株式の消却により利益剰余金が2億25百万円、その他有価証券評価差額金が16百万円、為替換算調整勘定が17百万円減少した一方、自己株式が2億63百万円減少したことによる純資産の増加によるものであります。以上の結果、自己資本比率は48.2%（前連結会計年度末は47.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、1億98百万円増加し、41億28百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、2億78百万円（前年同期比1億91百万円増）となりました。その主な要因は、たな卸資産の増加額3億92百万円、仕入債務の減少額84百万円、法人税等の支払額1億8百万円などによる資金の減少があった一方、売上債権の減少額7億99百万円、税金等調整前四半期純利益1億75百万円などによる資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、18百万円（前年同期は1億43百万円の増加）となりました。その主な要因は有形固定資産の取得による支出12百万円などによる資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、61百万円（前年同期は56百万円の減少）となりました。この主な要因は、配当金の支払額60百万円などによる資金の減少があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績の状況等を勘案した結果、業績は概ね見込どおりに推移しており、2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,930,067	4,128,513
受取手形及び売掛金	5,689,455	4,893,052
電子記録債権	184,390	180,612
商品	507,855	891,294
仕掛品	115,780	124,998
その他	94,223	81,488
貸倒引当金	△1,968	△979
流動資産合計	10,519,804	10,298,980
固定資産		
有形固定資産	1,084,065	1,071,634
無形固定資産	57,043	37,234
投資その他の資産		
投資有価証券	386,102	363,245
敷金及び保証金	453,051	455,743
繰延税金資産	493,048	483,146
その他	65,546	65,223
貸倒引当金	△6,653	△6,649
投資その他の資産合計	1,391,096	1,360,708
固定資産合計	2,532,205	2,469,577
資産合計	13,052,009	12,768,557
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,921,994	2,837,134
短期借入金	1,109,680	1,115,177
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	150,977	97,700
賞与引当金	399,000	393,900
役員賞与引当金	14,500	-
受注損失引当金	-	6,594
その他	876,115	776,937
流動負債合計	5,522,267	5,277,444
固定負債		
役員退職慰労引当金	89,246	82,906
退職給付に係る負債	1,227,580	1,190,932
資産除去債務	66,187	66,509
固定負債合計	1,383,014	1,340,348
負債合計	6,905,281	6,617,793

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,629	2,359,610
利益剰余金	1,616,886	1,390,916
自己株式	△265,176	△1,326
株主資本合計	6,004,347	6,042,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,492	137,050
為替換算調整勘定	△11,111	△28,493
その他の包括利益累計額合計	142,380	108,556
純資産合計	6,146,728	6,150,764
負債純資産合計	13,052,009	12,768,557

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	9,241,603	9,546,487
売上原価	7,569,760	7,776,113
売上総利益	1,671,842	1,770,374
販売費及び一般管理費	1,612,468	1,611,241
営業利益	59,374	159,133
営業外収益		
受取配当金	5,044	4,857
為替差益	237	11,040
その他	6,015	6,226
営業外収益合計	11,297	22,124
営業外費用		
支払利息	3,747	4,148
その他	878	1,606
営業外費用合計	4,626	5,755
経常利益	66,045	175,502
特別利益		
投資有価証券売却益	175,702	—
特別利益合計	175,702	—
税金等調整前四半期純利益	241,747	175,502
法人税、住民税及び事業税	44,180	59,182
法人税等調整額	28,357	17,122
法人税等合計	72,537	76,305
四半期純利益	169,210	99,197
親会社株主に帰属する四半期純利益	169,210	99,197

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	169,210	99,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,615	△16,441
為替換算調整勘定	△3,317	△17,382
その他の包括利益合計	13,297	△33,823
四半期包括利益	182,507	65,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,507	65,373

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	241,747	175,502
減価償却費	47,368	47,073
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△994	△992
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,200	△5,100
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	△14,500
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	-	6,594
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	-	△6,339
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△34,213	△36,637
受取利息及び受取配当金	△5,434	△5,181
支払利息	3,747	4,148
投資有価証券売却損益 (△は益)	△175,702	-
売上債権の増減額 (△は増加)	861,641	799,505
たな卸資産の増減額 (△は増加)	101,490	△392,712
仕入債務の増減額 (△は減少)	△878,081	△84,188
未払消費税等の増減額 (△は減少)	60,626	△122,379
その他	1,397	21,324
小計	203,394	386,118
利息及び配当金の受取額	5,299	5,207
利息の支払額	△3,729	△4,155
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△117,943	△108,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,020	278,947
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,080	△1,080
投資有価証券の売却による収入	188,702	-
有形固定資産の取得による支出	△38,265	△12,420
ソフトウェアの取得による支出	△6,307	△1,184
敷金及び保証金の差入による支出	△393	△4,475
敷金及び保証金の回収による収入	810	1,376
その他	434	△388
投資活動によるキャッシュ・フロー	143,900	△18,172
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△12,822	△799
配当金の支払額	△43,364	△60,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,186	△61,337
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,951	△991
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	172,782	198,445
現金及び現金同等物の期首残高	3,501,093	3,930,067
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,673,876	4,128,513

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,303,565	2,052,960	1,829,169	9,185,695	55,907	9,241,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,215	—	737	19,952	139,732	159,685
計	5,322,780	2,052,960	1,829,906	9,205,647	195,640	9,401,288
セグメント利益又は損失(△)	△5,000	107,222	87,310	189,532	△14,940	174,591

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	189,532
「その他」の区分の利益	△14,940
セグメント間取引消去	413
全社費用(注)	△115,631
四半期連結損益計算書の営業利益	59,374

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,059,084	2,247,836	2,175,848	9,482,769	63,717	9,546,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30,048	—	23	30,072	142,656	172,728
計	5,089,132	2,247,836	2,175,872	9,512,842	206,374	9,719,216
セグメント利益	31,423	144,761	102,198	278,383	2,719	281,103

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	278,383
「その他」の区分の利益	2,719
セグメント間取引消去	191
全社費用(注)	△122,162
四半期連結損益計算書の営業利益	159,133

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。